

農林水産商工常任委員会資料

(令和5年2月15日)

項 目	ページ
■ 企業BCPサイト「トリB」(トリビー)の機能拡充について 【商工政策課】……………	2
■ 菊田印刷株式会社の鳥取市進出に係る協定書調印式の実施について 【立地戦略課】……………	3

商 工 労 働 部

企業 BCP サイト「トリ B」(トリビー) の機能拡充について

令和5年2月15日
商工政策課

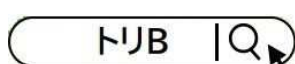
本県は、自然災害、新型コロナウイルス、情報セキュリティなど、企業活動に関するリスク対策を手軽に検討できる場として、令和3年9月から企業BCP(事業継続計画)支援サイト「トリ B」(トリビー)を開設しています。

今年度新たに、非常事態を疑似体験できる「危機管理模擬訓練機能」、BCPの入門編として、災害時に最低限必要となる対応事項を文書化する「簡易BCP作成支援機能」を追加し、運用を開始しました。

1 鳥取県 企業 BCP 支援サイト「トリ B」の概要

(1) 企業 BCP 支援サイト「トリ B」

<https://tori-b.net/>



(2) 現行機能「リスク診断」

「自然災害」「新型コロナウイルス」「情報セキュリティ」の3事象について、設問への回答により自社のリスク対応度を簡易評価できる「リスク診断」を公開している。

診断結果は点数化され、今後取り組むべき対策についてのアドバイスも表示される。BCP策定支援等の制度についても案内しており、本格的なBCP策定への誘導を図る。

2 機能拡充の概要

(1) 危機管理模擬訓練機能

企業の経営者になって非常事態時の対応を疑似体験できる機能で、「水害対応」「地震後の事業継続対応」の2つのシナリオを設けている。設問への対応を回答することで、BCP策定や見直しの必要性についての気づきを得ることができ、危機管理に関する研修・教育ツールとしても活用できる。

<「地震後の事業継続対応」の設問例 >

Q. あなたは米子市に本社を置く自動車部品製造企業の2代目社長です。岩手県盛岡市に出張中、米子市を震源とする大型地震が発生し、現場責任者を決める必要が生じました。誰を自分の代理とすることが適切と考えますか？

1. 都内大手企業を辞めて2年前に米子に帰郷した際に中途採用した総務部長
2. 長年現場を仕切っている業務部長
3. 3年前に引退した前社長の父親



(2) 簡易 BCP 作成支援機能

非常事態時の事業継続に向け、「最低限必要となる6つの対応事項」をまとめた「簡易BCP」を文書化できる機能で、BCP策定に踏み出せない企業にも取り組みやすいものとしている。これをきっかけに本格的なBCP策定への誘導を図る。

<最低限必要となる6つの対応事項>

1. 止められない重要な業務・事業を明確にする
2. 「災害モード」「非常時の経営体制」への移行目安を決める
3. 会社経営に影響が出る場合、社長は「災害モード」又は「非常時の経営体制」移行を宣言する
4. 代理者に権限移譲する
5. 非常時の経営体制に移行したら、早期に最初の対応方針を出す
6. 非常時の経営体制に移行したら、全社員に連絡をする



3 今後の取組等

新型コロナウイルスのほか、今般の大雪により自然災害対応の重要性があらためて認識されたところであり、手軽に利用できる「トリ B」を通じて、BCP策定の間口を広げていく。

現在2シナリオで運用している「危機管理模擬訓練機能」については、今後の利用状況を踏まえながら、シナリオの追加等を検討していく。

菊田印刷株式会社の鳥取市進出に係る協定書調印式の実施について

令和5年2月15日
立地戦略課

大阪府豊中市にある菊田印刷株式会社が、鳥取市にアニメグッズ製造の工場を設置することとなり、これを支援する鳥取県及び鳥取市との間で次のとおり協定書の調印を行いました。

1 企業概要

- (1) 名称 菊田印刷株式会社 (きくたいんさつかぶしきがいしゃ)
- (2) 所在地 大阪府豊中市利倉三丁目10番34号
- (3) 代表者 代表取締役社長 溝口 章仁 (みぞぐち あきひと)
- (4) 設立 昭和55年 (昭和38年創業)
- (5) 資本金 1,000万円
- (6) 売上高 4億円 (令和4年6月期)
- (7) 従業員数 47名 (アルバイト、パート17名を含む)
- (8) 事業内容 印刷業 (オフセット印刷、UV印刷 (※)、オンデマンド印刷、製本・各種加工等)
※UV印刷…紫外線 (Ultra Violet ray) を照射して瞬時にインキを硬化・乾燥させる印刷方法

2 投資計画概要

- (1) 立地場所 鳥取市湖山町東三丁目100番地 ※国道9号鳥取バイパス沿い
敷地面積：約640㎡、延床面積：約330㎡
- (2) 名称 菊田印刷株式会社 鳥取工場
- (3) 投資額 約1億円
- (4) 雇用計画 10名程度
- (5) 操業開始 令和5年6月 (予定)
- (6) 事業内容 アニメグッズの製造等 (制作・検品・包装・出荷)



・同社は、高い印刷加工技術を活用し、人気アニメのキャラクター等をアクリル板に印刷したアクリルスタンドをはじめ、キーホルダーや缶バッジなどのアニメグッズを製造・販売しており、好調な需要を背景に、アニメグッズ等の生産体制を増強するため工場を新設されるもの。

商品例 (アニメ「進撃の巨人」(左)及び「ブルーロック」(右)のアクリルスタンド)



©諫山創・講談社/「進撃の巨人」The Final Season 製作委員会



©金城宗幸・ノ村優介・講談社/「ブルーロック」製作委員会

3 県の支援見込み

鳥取県産業成長応援補助金 約1,000万円 (見込み) ※投資終了後、実績に基づいて交付予定
〔内訳〕設備投資予定額 約1億円×補助率10%

4 調印式

- (1) 日時 令和5年2月8日 (水) 午後3時から3時30分
- (2) 場所 鳥取県庁議会棟3階 特別会議室
- (3) 出席者 菊田印刷株式会社 代表取締役社長 溝口 章仁
鳥取市 市長 深澤 義彦
鳥取県 知事 平井 伸治



協 定 書

菊田印刷株式会社（以下「甲」という。）、鳥取県（以下「乙」という。）及び鳥取市（以下「丙」という。）は、甲の鳥取市への進出について次のとおり協定する。

第1条 甲は、別紙1のとおり鳥取市に工場を設置するものとする。

第2条 乙及び丙は、前条に定める工場の設置及び操業が支障なく円滑に行われるよう、誠意をもって協力するものとする。

第3条 甲は、法令等の規定を遵守し、特に工場の設置、運営等に当たっては、公害の発生防止と周辺環境の保全に努めるものとする。

第4条 甲は、従業員の採用に当たっては、鳥取県内在住者及び鳥取県内へのI J Uターン者の積極的な採用及び鳥取市内への定住に努めるものとする。

2 乙及び丙は、甲の人材確保に当たっては、誠意をもって協力するものとする。

第5条 甲は、事業実施に当たっては、鳥取県産業振興条例（平成23年鳥取県条例第68号）の趣旨を踏まえ、鳥取県内企業との積極的な取引及び協業の推進に努めるものとする。

第6条 甲が別紙1のとおり鳥取市に工場を設置することに対し、乙及び丙は、別紙2に掲げる支援を行うものとする。

第7条 甲、乙及び丙は、この協定に定める事業を実施する上で知り得た他の当事者の営業、人事、技術その他の業務上の機密（以下、総称して「機密情報」という。）を保持するものとし、第三者に開示し、又は漏えいしてはならない。ただし、機密情報を開示しようとする者があらかじめ書面により当該機密情報を保有する他の当事者の同意を得た場合は、この限りでない。

第8条 この協定に定める事項について疑義が生じたとき、及びこの協定に定めのない事項については、甲、乙及び丙が協議して定めるものとする。

上記のとおり協定した証として、本書3通を作成し、甲、乙及び丙がそれぞれ署名の上、各自その1通を保有し、信義を重んじ誠実にこの協定を履行するものとする。

令和5年2月8日

甲 大阪府豊中市利倉三丁目10番34号

菊田印刷株式会社

代表取締役社長 溝口 章仁

乙 鳥取県鳥取市東町一丁目220番地

鳥取県

鳥取県知事 平井 伸治

丙 鳥取県鳥取市幸町71番地

鳥取市

鳥取市長 深澤 義彦

（別紙1）進出計画概要

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 事業所の名称 | 菊田印刷株式会社 鳥取工場 |
| 2 所在地 | 鳥取市湖山町東三丁目100番地 |
| 3 事業開始 | 令和5年6月（予定） |
| 4 事業内容 | アニメグッズの製造など |
| 5 雇用計画 | 10名程度採用予定 |

（別紙2）

- 鳥取県の支援
鳥取県産業成長応援条例（令和元年鳥取県条例第4号）に基づく支援
- 鳥取市の支援
鳥取市企業立地促進要綱（平成14年9月4日制定）に基づく支援